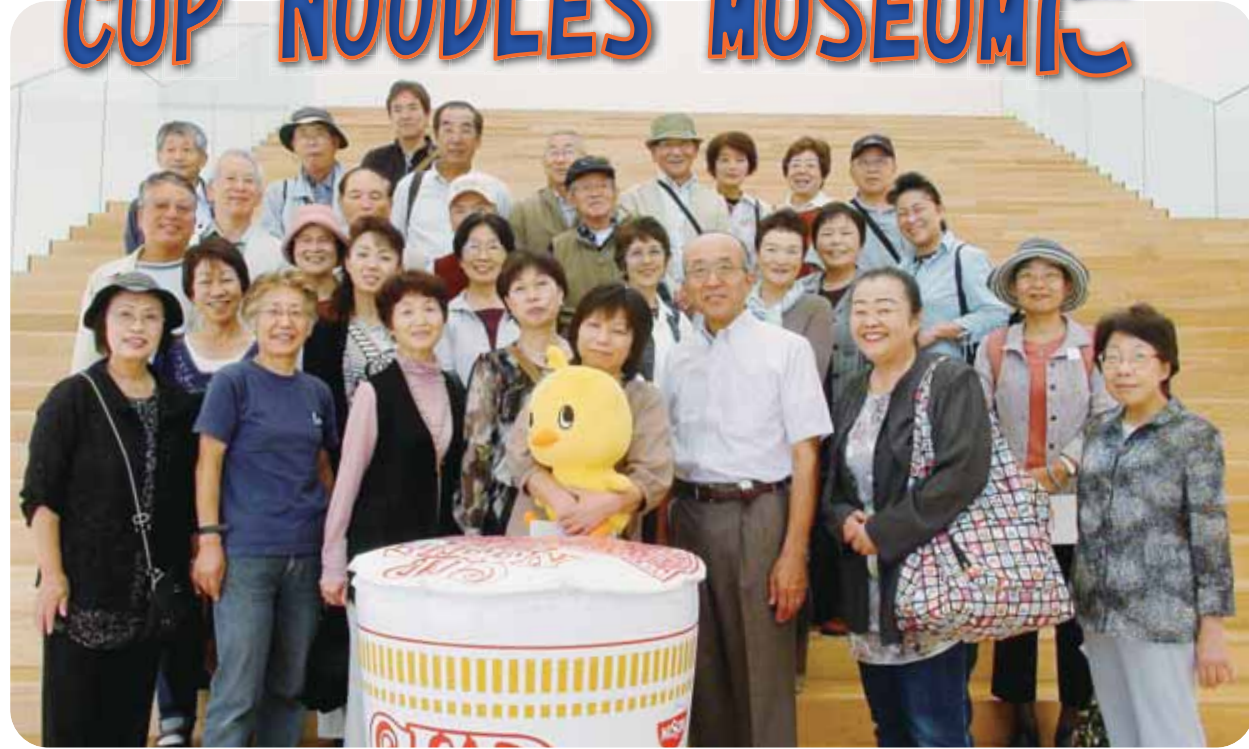


# 愛川ボラ連だより

第7号 平成25年2月発行  
愛川町ボランティア連絡協議会  
愛川町角田257番地の1  
(町社会福祉協議会内)  
☎ 046-285-2111

## CUP NOODLES MUSEUMに



# ボラ連研修視察

愛川国際交流クラブ

佐藤 茂

今年度のボラ連研修視察は、10月6日横浜みなとみらいにある「カップヌードルミュージアム」で行われました。

当日は、晴天に恵まれ33名で一路横浜へ。車中はボラ連の仲間達の会話で賑わっていました。そして順調に走り10時過ぎには、現地到着となりました。

土曜日という事もあり、カップヌードルミュージアムには、すでに大勢の方々が見学に訪れていました。

最初は、「チキンラーメン」から始まり「カップヌードル」の誕生を経て、現在の商品に至る展示コーナーを見学しました。



好みの具をどっさり

そして、昼食後、みなとみらい周辺を各グループで散策し、コミュニケーションも取れ、有意義な視察であったと思います。



創業者 安藤 百福 像

百福シアターでは、創業者、安藤百福氏が「食」の創造に人生を捧げ、世界的発明とされたインスタントラーメンの研究などを紹介しており、創業者の発想、努力、生涯を通じた活動など96年間の軌跡を学びました。

その後、マイカップヌードルファクトリーでは自分でデザインをしたカップで、スープ、トッピングを選び、オリジナルカップヌードルを作り、楽しみました。

# 県ボラ連ブロック研修会に参加して

座間市総合福祉センター

8月28日(火)

出席者

井上会長  
小島副会長、栗山副会長  
渡辺 礼子、古座野 信夫

### ① 問題点として

昨年、愛川町で開催した県央・西湘ブロック研修会が、今年度座間市総合福祉センターで6市町ボラ連が参加。県ボラ連への加入団体の減少の中、4班に分かれ討議した。

### 提案として

市町で出来ない講演会の開催例：パリンピック選手を招く。県民センター以外での開催。午前中は地区の視察、昼食時のふれあい、絆を深める情報交換等。

### ② 期待すること

自主財源スポンサーづくり。県社協との人・物・金の共有化。参加しやすい会場の確保

### ③ 広報誌の活用

各市町ボラ連の情報交換の紙面づくり、他市町ボラ連の活動に参加してみる等。



発表された井上会長、栗山副会長



活発な討議風景

県ボラ連書記  
あしボ 小島昭吾

参加者より「県ボラ連や、他市の活動がわかり出席してよかった」と聞き、思いを新たにしました。総括として、県社協と県ボラ連との信頼関係不足を痛感しました。18年前、先輩諸兄が熱い思いで組織化した県ボラ連をさらに人と人との絆を深められるよう、再構築し、県ボラ連に参加して良かった、他地区の活動やそれを支える仲間会えてよかったと喜びを分かち合える県ボラ連にしていくことを胸に帰路につきました。

## 表彰受賞者紹介

10月18日(木)、平成24年度神奈川県社会福祉大会で表彰されました。(敬称略)  
神奈川県社会福祉協議会会長感謝  
ボランティア功労者【団体】

愛川町食生活改善推進団体 味彩会  
愛川レクリエーションクラブ  
愛川町録音ボランティアグループ

かえでの会

ボランティア功労者【個人】

(味彩会) 熊坂 君代  
(かえでの会) 杉山 淳子

10月20日(土)、平成24年度愛川町社会福祉大会で表彰されました。(敬称略)

愛川町表彰 福祉功労表彰

(味彩会) 齊藤 和子

愛川町社会福祉協議会表彰 善行者表彰  
(味彩会) 藤本 タカ

(かえでの会) 熊坂 冷子  
(あしボ) 八木 民子

高 秀夫

### 編集後記

昔と違い最近インターネットの発達により色々な情報交流の方法があり、私の身辺も賑やかです。東日本大震災の時は早く早く確認のサイトができ、行方わからなかった友人の安全がわかり感謝と共に便利になったものだと痛感いたしました。しかし、だからこそ、大切なのは人と人との生身の繋がりが。ツールは、会って話が出来ないことを補うための手段であって目的ではありません。

(T.Y)

愛川町観光キャラクター

# あいちゃん



紹介コーナーでお配りした  
バッグ大変好評でした。

# あゝかわ福祉のひろば

## わ い わ い ス ペ ー ス

町、町社協、ボランティアが、展示や催して  
地域福祉についての紹介を行い、福祉への理解を  
深めることを目的としています。

### 10月28日(日) 町福祉センター前



午前と午後の各1回行われたボランティア啓発クイズコーナー



実行委員や社協スタッフによる模擬店コーナー



ボランティアグループ紹介コーナー



ふれあい福祉体験コーナー



遊びコーナー



実行委員や社協スタッフによる模擬店コーナー



実行委員や社協スタッフによる模擬店コーナー



車椅子体験コーナー

### 第23回福祉のひろば 「わいわいスペース」開催される

愛川町ボランティア連絡協議会  
会長 井上 桂

毎年行われている「福祉のひろば」が今年も  
「わいわいスペース」としてバージョンアップし、  
10月28日に行われた。町ボランティア連絡協  
議会委員が実行委員として運営に当たり、町福  
祉センター前が会場になった。

内容は、毎年好評で午前と午後の各1回行わ  
れた「ボランティア啓発クイズコーナー」、掲示物  
が楽しい「ボランティアグループ紹介コーナー」、  
ペットボトルでけん玉を作って遊んだ「愛レク」に  
よる「ふれあい福祉体験コーナー」、また、今年  
から新しく企画された、「あしボ」による「遊びコ  
ーナー」、実行委員や社協スタッフによる「模擬店」  
と盛りだくさんであった。

生憎の雨模様の天気ではあったが、参加者は  
大変楽しく喜んで参加されていた。「ふれあい福  
祉体験コーナー」や「遊びコーナー」は、子ども  
たちが沢山訪れ、何度もチャレンジしている姿が  
印象的であった。また、時間前に商品が売り切  
れる模擬店が続出し、参加者から「残念ですね  
…」との声も上がっていた。

### みんなの声

- 午前中の雨でもたくさんの方に来ていただき、良かったです。
- 車椅子体験者の貴重な意見もあり、多くの人に体験して貰うことが大切であると思いました。
- シナモンの香りで珍しいお菓子「チュロス」はとても美味しく、評判が良かったです。
- 模擬店コーナーは活気があって楽しかったです。
- キヤラメルポップコーン、大勢の人に喜んでいただきました。
- 雨で寒かったが、けんちゃんそばに大勢の人が来てくれました。午前中で完売！喜んでもらえたので、良かったですと思います。
- おそろいの半纏に親しみをもった。雨の中でしたが、みなさん楽しんでいただけただけで、うれしく思いました。新しい試みもありました。毎年少しずつ変えていくのも必要なのですね。
- 雨にも関わらず、大勢の方に来ていただき、盛大に行えました。参加者の方も「とても楽しかったです」の声が多く、私たちボランティアも楽しめました。
- ペットボトル利用のけん玉、とても良いアイデアですね、と喜び作って帰られ、広めたいといっておりました。ご夫婦の方、小さい子どもから大人にも好評でした。
- スカットボールでは、子どもの顔が嬉しそうで、楽しい1日でした。全部で103名の方に参加していただき、子どもや大人を含めて楽しんでいただきました。
- ボランティア紹介コーナーでは、大勢の方が来られ、活動の紹介が出来ました。
- とても良い企画で、また来年に期待したいです。

ボラ連  
仲間募集  
なごみ

# 傾聴ボランティア なごみ



平成20年5月に会を発足し、町の高齢者施設・グループホーム・北部病院等で傾聴活動をしています。現在会員数は19名です。

毎月第一火曜日・定例会



傾聴とは、相手が話したいこと、伝えたいことを受容的・共感的な態度で真摯に聴く行為や技法を指します。

ロールプレイによる練習



一緒に始めませんか？



傾聴講座で学びスキルアップを図る

連絡をお待ちしています。

連絡先：社会福祉法人 愛川町社会福祉協議会 285-2111(内線3793)

ボラ連  
仲間募集  
あシボ

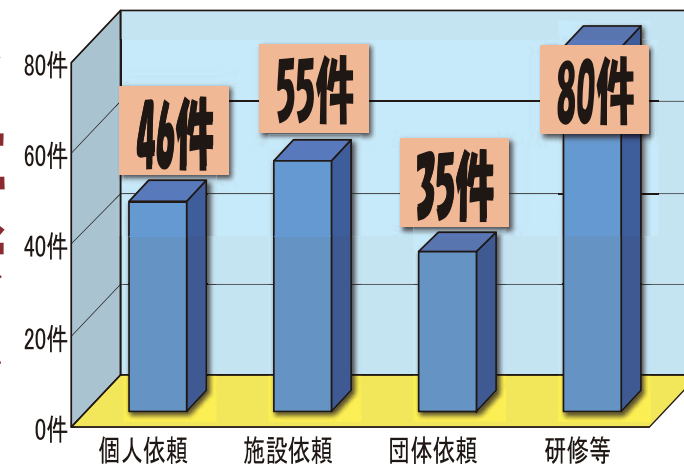
あ

シ

ボ

# 活動内容

平成23年度活動集計  
(23年4月～24年3月)



「男手を社会に活かそう」

あシボは、現役時の経験や趣味を活かして、町内で活動している男性ボランティアグループです。高齢者・障がい者宅・施設・団体等のお手伝いでは、男の出番がたくさんあります。無理せずに「できることを、できるときに、できる人が」活動し、楽しく生きがいを持って張りのある生活を送っています。

# あなたの技術を地域で活かそう

7種類の活動を1枚にまとめました



障子貼り・草取り等  
車椅子点検修理



定年後などに「なにか始めてみたい」とお考えの皆さん、自分も楽しみながら、ボランティアをしてみませんか。定例会は、毎月最終金曜日13時30分から、レディースプラザでやっております。

男性会員のみ

連絡先：社会福祉法人 愛川町社会福祉協議会 285-2111(内線3793)